

1-5. 団体概要	①設立年月日(和暦)	令和〇年〇月〇日		
	②前事業年度収益	〇〇〇〇〇〇〇 千円		
	③前事業年度収支(最終利益)	-〇〇〇〇〇〇〇 千円		
	④財務状況(直近決算年度の貸借対照表の正味財産合計額)	〇〇〇〇〇〇〇 千円 ※マイナスの場合は数字の前に「-」		
	⑤職員数	(常勤職員) 3名	(非常勤職員) 5名	合計 8名
	⑥ボランティア数	5名		
	⑦会員	個人 : 30人	団体 : 1団体	
	⑧団体の沿革(簡条書きで記載)	【記載事項】 ○事業を開始した年 ○法人格がある場合、法人格を取得した年 ○行政から事業を受託した実績がある場合は当該受託年度・委託自治体・事業名称		
	⑨直近3年間の主な活動実績とその財源について	※事業名に財源を紐付けて記入してください(例:〇〇事業(〇〇助成金)、△△事業(自己資金)など)。 【記載事項】 ○実施回数・実施箇所数 ○支援した子供・大人の人数又は(対象が不特定多数の場合)参加者数 ○支援した子供のうち、受験を支援した子供がいた場合、進学者数・進学状況(高校・専門学校・大学進学等) ○支援した子供のうち、就職を支援した子供がいた場合、就職者数・就職状況 ○食料支援の場合、配布した食料の量及び配布先の人数・施設数 ○その他、上記以外の数値的な成果又は数値以外の成果 ○地域広報紙やその他の報道で取り上げられたことがある場合、実績について具体的に記入 【例】 ○〇と〇〇のための〇〇活動、〇〇を〇〇する〇〇活動 (〇〇市△△△△補助金 2019年度) (〇〇市内1箇所、支援した子供の人数:延べ〇〇〇人(実数〇人)、〇人中、高校進学者〇人(進学率100%)) □□□□事業 (□□□□財団□□□□助成金 2020年度) (県内2箇所(□市と□市)、配布した食料□□t、配布した家庭の数:延べ□□□□世帯(実数□世帯)) △△△における△△の△△△△活動 (補助金・助成金等なし、2021年度) (△△市内1箇所、参加者数:△△△人、2021年△月△日△△新聞(朝刊)に記事掲載)		
	⑩未来応援ネットワーク事業の実績について	支援を受けた回数 1回 (下記プルダウン入力に応じ、自動計算されます) 令和4年度(第6回未来応援ネットワーク事業) ※第1~6回支援(R2コロナ緊急支援を除く)のうち、3回支援を受けている場合は、支援対象外となります。		
⑪未来応援ネットワーク事業の実績がある場合、その事業の実施状況及び成果	※実施したことによる効果(変化)などを具体的な数字を交えて実施状況及び成果を350文字以内で記入してください。 【記載事項】 ○実施箇所数 ○支援した子供・大人の人数又は(対象が不特定多数の場合)参加者数 ○支援した子供のうち、受験を支援した子供がいた場合、進学者数・進学状況(高校・専門学校・大学進学等) ○支援した子供のうち、就職を支援した子供がいた場合、就職者数・就職状況 ○食料支援の場合、配布した食料の量及び配布先の人数・施設数 ○その他、上記以外の数値的な成果又は数値以外の成果 【例】 令和3年●月~●月まで、〇〇市内2拠点で中学生を対象に学習支援を月〇回計〇回開催。 参加人数延べ〇人(実数〇人)(8月時点)。 成果としては中間試験での成績上昇率〇%。			

②には団体の収益総額、③には収支(最終利益)を、④には正味財産合計額を、「千円単位」にて記載してください。
 ③収支と④正味財産合計額がマイナスの場合は、数字の前に「-」を入れてください。団体によって項目の名称が異なる場合がありますので、貴団体の経理担当者にご確認ください。

職員数の内訳を記入してください。常勤については、団体内部の雇用契約に基づいてご判断ください。
 ※一般的に「常勤」とは、事業所で定められている常勤の所定労働時間の勤務をしている職員をいいます。

上記「記載要項」に加え、今回の要望事業とのつながりがわかるように、活動を始めた経緯や、団体の設立経緯、沿革について、簡条書きで記載してください。

事業名及び当該活動の財源とあわせて、上記「記載要項」についても記入してください。簡条書きまたは文章のどちらでも構いません。

上記【記載事項】を踏まえ、事業の実施内容や参加人数、成果などを具体的に記載してください。成果については、事業を実施したことにより得られた効果について触れてください。未来応援ネットワーク事業の実績がない場合は「なし」と記入してください。

1-6. 営利を目的としない法人化に向けた計画(任意団体のみ回答)	※営利を目的としない法人化の計画の有無を選択してください。			
	営利を目的としない法人化の計画あり		営利を目的としない法人化の計画なし	
	※「営利を目的としない法人化の計画あり」の場合、予定している法人格を選択してください。			
	NPO法人 (特定非営利活動法人)	一般社団法人	一般財団法人	その他の法人
	※「営利を目的としない法人化の計画あり」の場合、法人化の予定時期を選択してください。			(↓該当する法人格を下欄に記載)
令和4年度～ 令和5年度	令和6年度～ 令和8年度	未定		

任意団体のみの回答項目です。
「営利を目的としない法人化の計画あり」を選択する場合は、予定している法人格及び法人化の予定時期についても該当するものを選択してください。

役員名簿		(和暦)	年 月 日	現在
役職名	氏名	年齢	常勤/非常勤の区分	団体活動以外の職業(勤務先名)・連絡可能な電話番号
監事 (設置している場合に記載)				

枠が足りない場合は、一つの枠の中に複数名記入してください。

監事を設置している場合は必ず記入してください。

2-7. 事業計画 ※事業を【新たな取り組み】【既存事業の拡充を図る取り組み】【既存事業と同様の取り組み】に分け、下記の項目について枠内に収まるように事業の具体的な計画を記入してください。複数の柱立てにより事業を実施する場合は、柱立て毎に記入してください。

【項目】

1. ○○の開催(柱立て○)

(1) 時期・回数

(2) 場所

(3) 対象者層・人数

(4) 事業内容詳細

(5) 対象者層(貧困を抱える子供)へのアプローチ方法

(6) 拡充の内容【既存事業の拡充を図る取り組み】の場合のみ記入してください。

【新たな取り組み】

事業の具体的な内容を下記の記入例を参考に記入してください。
なお、柱立てごとに記載していただく等分かりやすく記入してください。

記入例：

1. ●●の実施(講座・研修会、訪問活動、配食・移動支援、相談・傾聴、イベント(シンポジウム等)、常設カフェ・サロン、報告会の開催、報告書の作成など)

(1) 時期・回数：令和●●年●●月～●●月 各月●●回計●●回

(2) 場所：●●市2拠点、●●市1拠点

(3) 対象者層・人数：●●(●●名)

(4) 事業内容詳細：何をどのように行うのかを具体的に記入してください。

(5) 対象者層(貧困を抱える子供)へのアプローチ方法：どのようにして対象者層に支援を届けるのかを具体的に記入してください。

【既存事業の拡充を図る取り組み】

記入例：

2. ●●の実施(講座・研修会、訪問活動、配食・移動支援、相談・傾聴、イベント(シンポジウム等)、常設カフェ・サロン、報告会の開催、報告書の作成など)

(1) 時期・回数：令和●●年●●月～●●月 各月●●回計●●回

(2) 場所：●●市2拠点、●●市1拠点

(3) 対象者層・人数：●●(●●名)

(4) 事業内容詳細：何をどのように行うのかを具体的に記入してください。

(5) 対象者層(貧困を抱える子供)へのアプローチ方法：どのように対象者層に支援を届けるのかを具体的に記入してください。

(6) 拡充の内容：既存の内容との違いを具体的に記入してください。

【既存事業と同様の取り組み】のみの申請は支援対象外となります。

【新たな取り組み】【既存事業の拡充を図る取り組み】とあわせて申請するようにしてください。

【既存事業と同様の取り組み】

記入例：

3. ●●の実施(講座・研修会、訪問活動、配食・移動支援、相談・傾聴、イベント(シンポジウム等)、常設カフェ・サロン、報告会の開催、報告書の作成など)

(1) 時期・回数：令和●●年●●月～●●月 各月●●回計●●回

(2) 場所：●●市2拠点、●●市1拠点

(3) 対象者層・人数：●●(●●名)

(4) 事業内容詳細：何をどのように行うのかを具体的に記入してください。

(5) 対象者層(貧困を抱える子供)へのアプローチ方法：どのようにして対象者層に支援を届けるのかを具体的に記入してください。

(注意)過去5年以内にこの申請の関係者が暴力団等反社会的勢力に該当し、又は反社会的勢力と関係を有する場合には、支援をお断りしております。				
当該事実の有無	有	・	○	無
(注意)過去において法令等に違反する等の不正行為を行い、不正を行った年度の翌年度以降5年間を経過しない場合には、支援をお断りしております。				
当該事実の有無	有	・	○	無
(注意)この要望書に虚偽の内容が記載されている場合には、支援をお断りしております。				
当該事実の有無	有	・	○	無

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

子供の未来応援基金 令和5年度未来応援ネットワーク事業 募集に関するアンケート

この度は、子供の未来応援基金 令和5年度未来応援ネットワーク事業にご応募いただき、ありがとうございました。

ご応募いただいた皆様の回答を踏まえ、今後、より充実した募集の広報に努めていきたいと考えておりますので、次のアンケートへのご協力を
お願いいたします。

設問	今回の募集はどのようにしてお知りになりましたか。該当する項目を選んでください(複数選択可)。		
回答	<input type="radio"/>	子供の未来応援国民運動ホームページ	子供の未来応援国民運動 Facebook、Twitter
	<input type="checkbox"/>	子供の未来応援国民運動ポスター、チラシ	内閣府ホームページ
	<input type="checkbox"/>	内閣府からの案内	WAMホームページ
	<input type="checkbox"/>	WAM助成 Facebook、Twitter	メールマガジン「WAM助成通信」
	<input type="checkbox"/>	行政・社協等からの案内	他団体からの紹介
	<input type="checkbox"/>	知人・友人からの紹介	その他(内容を下欄に記入)
	<input type="checkbox"/>	(その他の内容)	

インプットシート (別シート) の記載例

プルダウンより費目を選択してください。収入やその他の経費についても選択可能です、

具体的な積算根拠を記入してください。

費目	数量	単価	単位	数量	単価	単位	数量	単価	単位	合計
謝金	柱	講師謝金	10,000円	×	1人	×	5回			= 50,000円
旅費	柱	ボランティア旅費	1,000円	×	10人	×	10回			= 100,000円
賃金	柱	アルバイト賃金	1,000円	×	5時間	×	40日			= 200,000円
消耗品費	柱	冷蔵庫	70,000円	×	1台					= 70,000円
賃金	柱	全体事業 アルバイト賃金	1,500円	×	5時間	×	100日			= 750,000円
光熱水費	柱	電気料金	3,000円	×	12ヵ月					= 36,000円
雑役務費	柱	研修会における託児料金	1,000円	×	3時間	×	10回			= 30,000円
家賃	柱	全体事業 事業専用建物	70,000円	×	12ヵ月					= 840,000円
消耗品費	柱	1~3 コピー用紙	20,000円	×						= 20,000円
消耗品費	柱	1 食料費	15,000円	×	12ヵ月					= 180,000円
印刷製本費	柱	5 報告書印刷費	300円	×	500部					= 150,000円
委託費	柱	5 IP作成にかかる業務委託	100,000円	×						= 100,000円
借料賃料	柱	2 研修会会場借料	1,000円	×	3時間	×	10回			= 30,000円
参加費収入	柱	参加費	10円	×	15家庭	×	10回			= 15,000円
一般会計繰入金	柱		5,000円	×						= 5,000円

数値を入力し、単位をプルダウンから選択、もしくは手入力してください。